

## 河北省の国有農場

### The National Farm in Hebei Province

立石 昌 広 Masahiro TATEISHI

はじめに

中国の国有農場では旧農場体制の改革と新たな経済建設が進展している。本稿は中国河北省国有農場をとりあげ、河北省農場での現地調査研究を通して現在の農場の変化に迫ろうとする。二年前の拙論「中国国有農場研究」<sup>1</sup>では中国国営農場史と全国的な農場改革の研究を行ったが、今回はこれを引き継ぎ、中国の一地域に限定して、その地域の農墾系統に属する農場を対象として調査・研究を行った。調査は主に2007年8月と2009年3月に行われた。

河北省には30の農場がある。大都市の北京や天津に近く、沿海部と北方の牧畜地帯にも広がり、農場経営にとって恵まれた条件を持っている。中国には新疆生産兵団や黒竜江省の農場など大規模な農場地帯もあるが、河北省の農場は沿海地域と内陸に分布している。農業生産規模では柏各庄農場のように全国的にも規模の大きな農場もあり、急速に発展を続ける農場もある。

本研究の順序としては、まず河北省全体の分布を考察し、次に柏各庄農場をはじめとする沿海地域の農場、そして内陸の旧農場の形跡を残す農場の事例へと考察を進める。

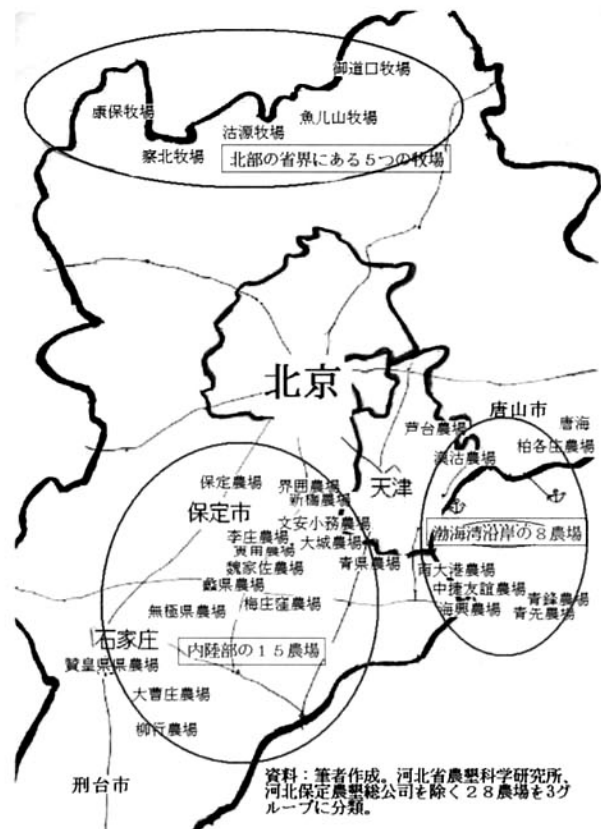
#### I 河北省全体の農場配置

河北省の地図1で農場全体を鳥瞰する。農場分布は以下3グループに分けてみることができる。①渤海湾沿岸地域の荒れ地を開発して作られた比較的面積や人口ともに大きな農場で、現在は沿海工業地帯の一部として発展を遂げているグループ。②もうひとつグループは内陸にあってやや小規模の農場が分散しているグループ。③省北部の牧場地域にあって河北省北部の内蒙古自治区との境界線上の山岳部に集

中して分布する牧場のグループとがある。

第一のグループは天津市の農場とも繋がり、渤海湾沿岸に分布している。唐海(県)農場の西の天津の農場地域そして黄河口の山東省へと繋がって分布している。

中国の3大沿海工業地帯は上海の揚子江三角地帯、広州の珠江三角地帯、渤海沿海工業地帯であるが、このグループの農場地帯は渤海沿海工業地帯に属しており、工業基地そのものに国有農場の広い土地を提供する。



地図1 河北省の農場分布

1 拙論 2008「中国国有農場の研究」長野県短期大学紀要

河北省の地図に農場の分布を記したように 30 箇所の農場、いくつかのグループに分けると、北部の省界にある牧場 5 つ、渤海湾沿岸に分布する 8 個、内陸に存在する 15 個、そして残りは保定市にある河北保定農墾総公司与石家荘市の河北省農墾科学研究所がある。

地図 1 に記した河北省農場は 28、そのうち牧場は察北牧場、沽源牧場、御道口牧場、承德市国営魚儿山牧場、張家口市康保牧場、内陸部の農場は大曹庄農場、梅庄窪農場、青県農場、新橋農場、李庄農場、黄甫農場、界隈農場、国営文安小務農場、大城農場、保定農場、蠡県農場、蠡県魏家佐農場、贊皇県農場、無極県農場、邢台市国営柳行農場、渤海湾沿岸の農場は柏各庄農場、芦台農場、漢沽農場、中捷友誼農場、南大港農場、海興農場、青先農場、青鋒農場である。

地図上にその位置を示し、表 1 に一覧表を載せて組織改革後の名称と所属関係及び所在地を示した。歴史的経緯から天津市内の 2 つの農場（漢沽農場、芦台農場）が河北省の農場となっているように行政区画と農場の位置関係は必ずしも一致しない<sup>3</sup>。

表 1 河北省農牧場名簿一覧表

	名称	隸属	隸属	改正後の試用名称	農場所在地
1	河北省国営柏各庄農場	市	唐山市	唐海県	唐山市唐海県
2	河北省国営芦台農場	市	唐山市	芦台経済技術開発区	天津市寧河県
3	河北省国営漢沽農場	市	唐山市	唐山市漢沽管理区	天津市寧河県

4	国営中捷友誼農場	市	沧州市	沧州臨海经济技术開發区	沧州市黃驛市
5	河北省国営南大港農場	市	沧州市	沧州南大港管理区	沧州市黃驛市
6	河北省国営大曹庄農場	市	邢台市	邢台市大曹庄農場	邢台市寧普県
7	河北省国営察北牧場	市	張家口市	張家口市察北管理区	張家口市張北県
8	河北省国営沽源牧場	市	張家口市	張家口市塞北管理区	張家口市沽源県
9	河北省御道口牧場	市	承德市	承德市御道口牧場	承德市開場県
10	河北省国営海興農場	県	海興県		沧州市海興県
11	河北省国営青先農場	県	海興県		沧州市海興県
12	河北省国営青鋒農場	県	海興県		沧州市海興県
13	河北省国営梅庄窪農場	県	献県		沧州市献県
14	河北省国営青県農場	県	青県		沧州市青県
15	文安県国営新橋農場	県	文安県		廊坊市文安県
16	文安県国営李庄農場	県	文安県		廊坊市文安県
17	文安県国営黄甫農場	県	文安県		廊坊市文安県
18	文安県国営界隈農場	県	文安県		廊坊市文安県
19	国営文安小務農場	県	文安県		廊坊市文安県
20	河北省国営大城農場	県	大城県		廊坊市大城県
21	河北保定農墾総公司	市	保定市農委		保定市
22	国営保定農場	市	保定市農業局		保定市徐水県
23	国営蠡県農場	県	保定蠡県		保定市蠡県
24	河北省国営蠡県魏家佐農場	県	保定蠡県		保定市蠡県
25	河北省贊皇県農場	県	贊皇県		石家庄市贊皇県
26	河北省無極県農場	県	無極県		石家庄市無極県
27	邢台市国営柳行農場	市	邢台市隆堯県		邢台市隆堯県
28	承德市国営魚儿山牧場	市	承德市		承德市豊寧県
29	張家口市康保牧場	市	張家口市		張家口市康保県
30	河北省農墾科学研究所	省	河北省農林科学院		唐山市唐海県

## II 渤海湾沿海地域の農場<sup>4</sup>

### II-1 柏各庄農場

現在の唐海県の前身は柏各庄農場である。唐山南部の海浜地帯の国有の荒地を開拓して 1956 年当

3 行政区画と必ずしも農場の範囲は一致しないのには歴史的経緯もあるが、農場が一企業として経営されるので当然のことである。しかし、農場の土地については属地主義にもとづく行政の改革、及び行政の統合が行われているので今後は多少の行政上の整頓があろう。

4 渤海湾沿海地域には天津がその中間を占めている。天津市の農場は 1979 年以降、全国の農場と同じく改革を進め、それまで大きな損失を出し、国家財政の負担となっていたものが利益を出すまでに転換した。

1978 年に一人あたり 5.32 元の利潤だったものが 1990 年には 638 元に上昇。賃金も 1829 元となり 1978 年比で 4 倍になった。1997 年には天津農墾総集団公司が成立し、所属する企業の管理が任されることになった。その後も市から権限が委譲され 2000 年には大企業としての優遇政策を受け株式の上場などもできるようになった。2004 年の段階で天津総農墾集団の資産総額は 43 億元に上り、土地面積は 13.9 万亩、そのうち耕地面積は 4.76 万亩である（2008 年にはやや減少を続け 12 万亩、耕地面積は 4.7 万亩）、直屬企業単位は 34 個、職員労働者数は 7122 人（2008 年は 5747 人）。農業総生産額は 16.41 億元、GDP 生産は 7.66 億元（2008 年 9.69 億元）である。利潤は 2.28 億元（2008 年は 2.68 億元）。現在の農場とよばれるものは 11、すなわち東郊、北大港、楊柳青、紅旗、紅光、曙光、潘庄、里自沽、大鐘庄、黄庄、武清の各農場である。これらは天津総農墾集団に所属する 33 の企業の中に含まれている。工農聯盟の畜牧場、また不動産会社としての海燕実業、不動産会社の天津農墾集団房地產開發建設有限公司などのように農場の広大な土地資産を引き継いで発展している企業もあるようだ。

時の第1次五カ年計画期にソ連の専門家の援助を得て建設された。1983年に県となり、農場との2重体制で、唐山市に属したが、柏各庄農場の名称は残され、県管轄の農場となった。唐海県の南は渤海湾に臨み、北は唐山、西は天津と北京を望む。唐海県の東南海岸に位置する曹妃甸は水深の深い良港をもち、現在建設中の新開発区の重要な構成部分である。将来は上海と深圳にならぶ北の大港湾施設となる。唐海県は人口希薄で一人あたり土地面積が7.8畝<sup>5</sup>、全県で海浜湿地面積81万畝、そのうち33万畝は省級の湿地と鳥類自然保護区になっている。南部には21万畝の広い荒れ地と未利用地がある。県の面積は960平方キロ、陸地732平方キロ、海域は228平方キロである。総人口は14万人、10個の農場（柏各庄農場の中の分農場と言うべきであるが分農場といってもそれぞれの規模は大きく、第一、第二、第三農場などと呼称される）、他に1つの養殖場、県制鎮がある。2008年に全県の生産総額は55.4億元、財政収入は6.89億元。都市居民の可処分所得は1.5万元。農民の平均収入は6850元と生活レベルは高い。経済的实力は県下140の県市のなかで2年連続第11番目と評価される。土壌は塩分を含む土地が多くあり、県城から南部の各農場では土地改良の難しい土地が多い。県内に9つの河道がつくられ灌漑水面は2933ヘクタール、総キロ数では83.47キロある。東西の灌漑区で15本の灌漑水路があり、支流30本、農業水路1266本になり、35.43万ムーの水田耕作を可能にしている。観光資源は豊かで、湿地面積が5.4万ヘクタール、全県の73.8%をしめる。湿地には多くの芦と稲田があり、魚やカニの養殖池と水庫がある。2008年に農業牧畜漁業の生産総額は22億7919万元であったが、そのうち農業5億4077万元、23.7%を占める。林業は485万元で0.2%、畜産は4億1022万元で18%を占める。漁業は8億5078万元で、37.3%を占め、農林漁業のサービス業は4億7257万元で18%を占める。野菜生産農家では全県で1.16万畝の棚野菜栽培施設があり、露面野菜栽培では1万畝余りである。主として北部の第6、第8、第9農場において野菜生産は当地の農家の主要な収入源であり、多くは注文栽培農業として営まれ北京、天津、唐山へ出荷している。農場

では農産物物流配送業を発展させており、唐海百万糧貿、三旺食品公司等初期産業化の雛形ができていいる。水産業は海水と淡水養殖業に16万畝の面積を有する。港区重点プロジェクト建設の影響もあり、海水養殖は次第に少なくなっているが、全県で海水養殖面積は2.43万畝、淡水は11.1万畝ある。ふぐ養殖は全国最大の養殖基地であり、年産1200余トンの生産量を誇り、1千万ドルを稼いでいる。牧畜業では豚と鶏で養殖規模を拡大している。全県で建設された園區は37箇所あり、そのうち飼育能力が5000頭以上のものは5箇所。牧畜専業は13戸、各種の養殖大戸は1300戸以上ある。国有農場の優位性を発揮して効率の良い田畑を請け負う過程のなかで大農家に規模の経済を実現するように奨励しており、全県では200畝以上の耕種農業の農家は63戸、500畝以上は10戸ある。機械化農業作業を進展させ田植機37台を購入し、コンバインは6台、小型コンバインは40台、2008年の全県での機械田植え面積は1.5万畝、機械収穫は8万畝で行われている。

唐海県には豊富な湿地資源と動植物がいる。渡り鳥の重要な生息地にもなっており、丹頂鶴、白鶴、黒鶴、金雕など、他にも保護鳥類には白鳥や隼、鷲、鶴、鷹などもいて、湿地保護区として生態農業も発展させ観光資源としており、保養地をすでに5箇所に作っている。南部7農場内には湿地休暇旅行プロジェクトを作り、計画面積は33平方キロに商業サービス休養区を設けている。曹妃甸は带状の小さな島で唐の李世民の愛妃の墓が置かれていることで知られる。鉱物資源も豊富で石油埋蔵量11.8億トン、天然ガス8億立方メートルと言われる。

曹妃甸新区は唐山に属し、2つの区と1県1城からなる。すなわち曹妃甸工業区と南堡開発区、唐海県、曹妃甸滨海新城である。陸地面積は1900平方キロになり、海岸線80キロ、人口22万人となる。2008年の全区生産総額は99.54億元、全部財政収入27.79億元。港は500メートルも波止場が延びて水深は深いところは30メートルもあり、渤海湾で唯一、30万トン級の船が停泊できる。この新区は荒れた湿地帯の海岸にあって1千キロ平米の面積がある。さらに南堡大油田と豊富な原塩資源もある。

ここでは地球最大規模の工業基地建設が行われて

5 中国の「畝」は666.7平方メートル。

いる。夜には埋め立て用の土砂などを満載したのべ1万台の車両が走る。遠く黒竜江省のトラック、中でも大慶油田に所属するトラックが大挙してやって来ている。世界でも一流の港湾が建設されようとしており、260の埠頭、とくに重要なのは鉱石、石炭、原油、液化天然ガス、化学工業品、雑貨の集散、コンテナなどの埠頭が建設され、2020年に完成して5億トンを超える中国一の輸送拠点になる予定である。2003年3月の建設開始以来累計で700億元が投資された。2005年12月には25万トンの鉱石埠頭が完成した。2008年9月には30万トンの原油埠頭が竣工、年間2000万トンの原油が輸入された。石炭埠頭一期工事も完成し、年間5000万トンの能力をもつ北の石炭を南に運ぶ出口となった。高速道路はもちろん、水道管も完成し、年間8200万トンの淡水が曹妃甸に輸送されている。産業プロジェクトでも、とりわけ2007年3月の総投資677億元の首都鉄鋼の北京からの移転は大きい意味を持つ。唐山鉄工所と合同で2010年には年産1千万トンの鉄鋼生産能力をもつことになる。総投資500億元の華電集団の大型エネルギー総合プロジェクトが正式に調印された。総投資1000億元の装備製造基地など一連のプロジェクト建設が始められる。2010年は投資が2000億元になる予定で財政収入は100億元に達するという。曹妃甸の総投資は今年1000億元に達し、三峡プロジェクトの半分に相当する。現時点で全国最大の建設工事で、この工業地帯は朱三角（広州・マカオ・香港の珠江三角地帯）、長三角（上海の長江河口地帯）のあとの渤三角といわれる。

工業産業区であると同時に注目すべき特徴は総合的サービス区でもあるということであろう。青龍河口湿地の自然景観と海浜の良好な交通を維持して総合サービス区となる予定で、人工湖畔を生態系景観区として、湿地帯保養区は国際会議場を中心に33平方キロにも及ぶ広さをもち、高級保養区として娯楽施設や運動施設も充実している。去年から21億元を投じて「科学発展論壇」という建物を中心に13.1万平方キロを完成させ、緑化面積は246万平方キロにもなる。その中に渤海国際会議センターがあり、宿泊設備もゴルフ場も、23棟の会員別荘も完成している。今後3-5年以内に湿地公園を曹妃甸裏の花園、保養港を建設し、唐山・北京・天津の高

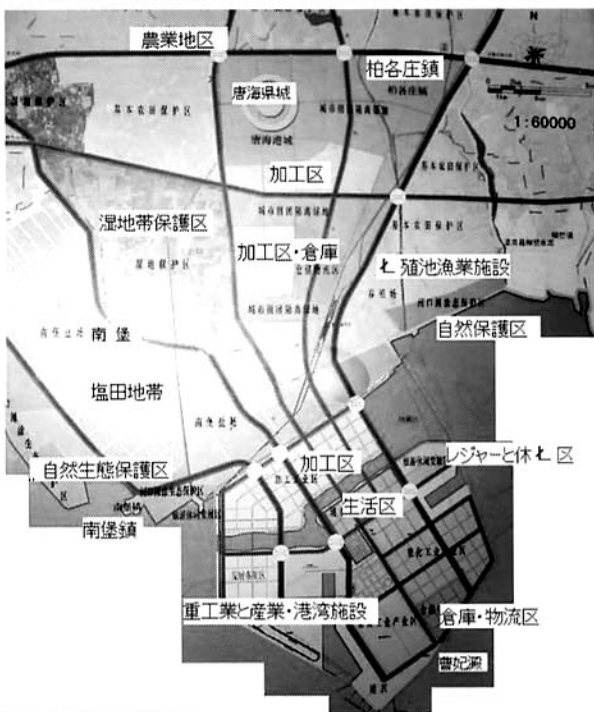
級保養地にするという。県城の生活区、唐海県城は冀東油田生産基地に対する生活サービス基地であり、商業歩行者街、高級住宅区と総合サービス施設が一体となった商業センターもできる。県城南はビジネス街に西は商業流通市場に、北には現代風の居民地区で1.1平方キロに水上公園と農貿市場、総合的自動車サービス施設などが建設される。旧城区の住宅は撤去して高級住宅を100万㎡建設する。沿海公路以南には12平方キロの城南新区が建設され、人口12万人前後となり、こうして海浜都市の雛形ができる。

サービス業について数値をあげると、2008年にはサービス業は21.8億元でGDPの39.3%を占めている。サービス産業は大きく3つの分野に分けることができる。①物流、金融、保険、情報、ビジネスサービス。②宿泊と飲食、小売業と卸売業、不動産などの消費型サービス。③環境と公共施設管理、文教を主とする公共サービスである。①の分野はまだ遅れている感があるが工農業に関連する伝統的物流産業はすでにある程度成立している。伝統的な既存のサービス業種についても2009年には6000万元投資して糧食、副食、果物野菜、水産物などを主とする農副産物市場を建設、小売り、冷蔵、加工などの業務と一体化して電子決算・情報ネット、農産物検査など各種の機能をもった現代的農副産物市場を7月に完成させるとしている。②のサービス分野については伝統的なものが多く、その中でも特筆すべきは国際会議場をはじめホテルなど3-4星級ホテルがいくつかできたことであろう。しかし伝統的サービス能力が低いこと、需要が拡大していくなかで質の向上という要求に答えていない、県域での経済発展のための合理的構造がなく管理体制も整っていないなどの点が指摘されている。消費型サービスとも重複するが③のサービス分野の中の環境サービス業関連に強みを有しており、この農場のもつ自然環境がここで優位性を発揮する。リゾート開発はすでにかなり進んでいるが、さらに旅行観光業促進のブランド品の開発や生態農業と県特有の湿地帯資源などの観光資源を組み合わせ、投資を引き入れ、工業観光、湿地観光、農業観光、水上活動、温泉療養などの旅行観光スポット、唐海旅行ブランド品を作るとしている。



渤海国際会議センターの二期工事に年内投資5億元、曹妃湖ビジネス保養港プロジェクト建設では面積33万㎡、概算投資額16.5億元で、年内に2億元投資される予定である。他にも多くのサービス業関連の計画プロジェクトやアイデアを計画目標に掲げ、実施段階に入っており、地域風情園、農場場部風情(「場部」とは農場生産や行政と生活の中心になる区域)、現代生態農業観光園、富康村生態観光旅行農業、双龍河開発利用実施と曹妃湖景観開発プロジェクトなど数多くの計画をもっているほか、周囲の市県と連携してブランド旅行路線を作り、さらに旅行用品ブランドと記念品を開発し、1-2の旅行会社を導入、養成して開発と宣伝を進め、マニュアル管理を体系化して旅行業の発展をはかるとしている。展示会や会議などを行う企業を招いて海外からのアミューズメント企業の導入を行い、唐海県の知名度を高めることも考えられている。このように、唐海県の開発はめざましい発展の象徴的事例となっている。

地図2 唐海県と曹妃甸の経済開発区将来図



## II-2 南大港

改革以前、南大港農場は社会的役割の負担が重いため、工商業生産コストは高く、市場競争力を欠き、

企業は連年損失を出し、大部分の企業は破産状態であった。体制改革後、農場は地域経済化を進め、国有資本は経営領域外に発展するという戦略をとった。投資は多元化し、農場に付属する工商企業はすべて現代的な企業として運営を行い、企業の生存空間を拡大することができた。企業の発展活力を増強し、全ての企業が増収へと転換した。農場の債務も2億元減少させるなど大きな成果を得た。ここではまた民営経済が地域経済の重要な支えとなっており、農場には民間企業はすでに80社余りあり、猛烈なスピードで発展し、民営経済の占める比重はすでに90%にまで高まった。2003年の生産総額は3.9億元で、固定資産投資は0.46億元、財政収入は0.21億元、2008年には生産総額15億元、固定資産投資7.1億元、財政収入2.6億元となり、それぞれ3.8倍、15.4倍、12.4倍に増加した。

南大港農場は対外開放による資本導入プロジェクトを積極的に推し進めた結果、2003年以來1000万元以上の建設プロジェクトは39件もあり、2008年だけでも1000万元を超えるプロジェクトは16件でそのうち4件が継続中で、12件が新プロジェクトである。農場創立から2002年で全農場の固定資産投資累計2.16億元であったが、2003年の制度改革から今日まで5年間で固定資産投資は累計21.8億元になり、農場建設以來40年で10倍になった。最近の経済成長が急激であることがわかる。

この発展に相応しい都市の新設計画のために、都市総合計画の編成を行って都市建設に取り組んでいる。2003年から2008年に農場は都市基礎設備建設に3.53億元投資し、2つの大きな橋、16本の道路を補修拡張し、新たに病院総合ビルを建て、中小学校ビル、幼稚園、養老院等一大交易施設を作り、また興港住宅小区、声園住宅小区も開発し都市の面貌を一新した。

南大港農場の面積は294平方キロ、13.4万畝の耕地面積がある。柏各庄農場と比べると小規模になるが13380ヘクタールの省級の南大港湿地と国家級の鳥類自然保護区がある。人口は6万人(油田地区1.5万人を含む)全農場の職員労働者数は1.5万人、農場の下には3分場と30個の生産大隊がある。2003年に省委員会・省政府が大改革を行い開発区

モデルを参考に農場の実態と結合させて南大港管理区を創立した。2007年7月に滄州渤海新区が生まれ、南大港は新区の一部となり、名称も南大産業園区とした。区内の産業は第1次産業の耕種農業綿花トウモロコシ小麦を主とし、また畜産牧畜豚羊、水産業養殖は海水淡水の養殖を行う。第二次産業では石油化学工場、機械鋳物製造業、金属加工、ガラス製造、塩業、建材業がある。石油化学工業が区内の主産業である。第三次産業は飲食・サービス・商業貿易物流などが主である。農場管理体制の改革以来、経済社会発展の建設を巡って強い農場を作る目標をたて、「工業で農場を立て直し、開放政策によって農場を富まし、プロジェクトを導入して農場を振興し、人々を富ませることで農場を強くする」というスローガンを掲げた。つまり、投資を呼び込み、プロジェクト建設を進め、対外開放を速め、開放のレベルを高くするという訳であるが、農業から工業・サービス業への転換を急速に進めることが発展の軸になる。農業は急激に比重を低下させる。この点、渤海沿海地域の農場の共通の発展方向となる。

南大港の経済発展環境を良好なものとし続けるために「投資奨励規定」「場長特別賞賞金」「経済環境優良化3箇条の禁止規定」などの文献で投資政策に力を傾けることが規定され、対外的に宣伝を行って南大港の知名度を高め、天津海浜新区、渤海新区に連なる立地条件、環境の良好な様を売りにしようとしている。投資者を導き入れ、前後して2000万元以上の工業計画区の水、電力、道路、情報など設備を整え、企業サービス水準を高め投資吸引力を向上させたとしている。目下のところ計画区内にこうした企業は14社も駐在している。すでに生産を開始したものは13社ある。

### II-3 中捷農場

中捷は南大港農場の南側に位置している。国際支援を得て作られた代表的な大規模農場である。1955年に朱徳副総理がチェコを訪問し、チェコ政府から中国政府に10万ムーの土地を耕す機械設備を送られたことが始まりである。国家はこの設備を使って河北省滄州内に国営農場を創設した。両国人民の友誼を記念するために國務院が批准し、周総理が自ら

中捷友誼農場と命名した。2003年7月に河北省人民政府の批准を経て中捷農場と臨港化工園区は合併して滄州臨港経済技術開発区となった。2007年2月河北省委員会と省政府は滄州渤海新区を作ることを批准、中捷農場はこうして渤海新区の中心となり名称をかえて滄州渤海新区中捷産業園区とし、中捷友誼農場の名前はその後も留保することになった。

中捷区域の面積は268万平方キロで、南大港農場と広さは変わらない。総人口は4.2万人である。15の生産隊、11の自然村、350の株式会社、民営、個人営業の工商業、登録企業は65社、企業総資産は25億元に達した。2008年に社会総生産額は80億元、GDPは24億元、財政収入8億元である。

中捷農場は創立以来3つの転換期を経過した。第一期は1980年に至るまで、農業を主とし、糧食生産をもって農工商総合経営を行った。第二期は90年代である。工業経済を主とする方向へ転換した。第三期は農墾制度改革後、農墾経済より開発区経済への転換期である。当地の地域行政に所属して管理、行政派出機構を置き、財政の健全化ということ柱に大改革を行った。産業管理体制の旧弊を克服し、農場企業が作る社会の不公平の歴史を終結したとされる。新たな管理体制を中捷に注入して活力を得、経済社会は迅速な発展をはじめた。

工業は改革のなかで大きく成長した。2000年に中捷は全市内で率先してすべての国有企業を株式会社制に変えた。既に石油化学工業、建築材料、食品加工、金属機械など十数個の模範産業が株式会社化した。石油化学工業は中捷の主導的産業で2007年に中海油と合作し、年間原油加工量250万トンとなった。2008年には生産額60億元を達成し5.68億元の税金を納めた。同時に中海油は1200万トンの石油精製プロジェクトを建設しようとしている。中海油は北方における重要な石油製品加工基地の一つになり、経済規模としては総額で800億元に達すると見込まれている。

都市建設も新段階を迎え人口百万人を有する沿海都市建設を行う。2008年末「黄驛新都市総合企画」を省政府は批准、2009年には縦に2本横に4本の基幹道路をもつ基礎建設に総額15億元を投じる。すでに着手しているのは7.5平方キロの科学技術園

区であり、目下のところ北京林業大学、河北農業大学、中国地質大学長城学院と我が区が合作して共同して学園を作るという協定書に調印し、今年正式に建設が始まる。もう一つの建設計画の目玉はこの地方には、これまで無かった本格的な規模のゴルフ場を作ることである。2008年5月には18ホールが作られ、半年の間に5千人以上のゴルファーが訪れた。中捷の知名度を高め商取引にも投資を呼び込むにも有利な環境が作られつつある。

農業はすでに近代的な基準を満たして発展を遂げている。中捷には優良な耕作地が10万畝もあり、機械耕作のレベルは高く95%が機械で耕作している。50%の耕地は現代的な散水灌漑施設があり、冬瓜、綿花などの経済作物が大きな割合を占めている。畜産牧業もすでに形成され、乳牛は5000頭に達し、12の通常の小規模の養殖地域ができています。河北郷謡乳業公司是河北省農業産業化の先進企業となった。度重なる整理統合と再組織を行い、河北第一の乳業ブランドを手に入れている。水産業も面積は4万ムーで年産2500トンとなっている。中捷は過去の歴史的な蓄積もあるが、現在もチェコやスロバキアとの関係を維持しており、他の外国からの投資が順調に伸びている。農業機械化のレベルが周辺の農場の中でも高い水準にある。

北に隣接する南大港の農業は中捷の発展戦略に照らして、集約化、生態化、産業化、標準化を重点に農業資源を共有して優劣あい補い合い、ともに発展することを基本的スタンスとしている。畜産、養殖漁業、品種の優良化と果樹林の緑化を主要産業に、特色をもった高率の農業を目指して生態保護産業を持続的に発展させようとしている。加工農産物と農業経済を飛躍的に発展させ農村の近代化を実現し、農業の産業化目標に農村の変革を進めている。

農場は国有の広い土地を持っていることが変革と発展の保障にもなっていることは共通した優位性である。統一した経営指導が徹底させられたことは改革の一貫性や統一性ということでも、外資導入についても有利であった。農村の新モデルを作り出そうとし、産業化を進め、社会形態と農民の身分の転換を進め、これまでの古い農村を社区（近代的コミュニ

ニティー）に転換し、農民をそのコミュニティーの一般住民に転換することで根本的に「三農」問題（農村・農業・農民のそれぞれがかかえる中国の遅れた事情）を変えようとしている。この改革では都市と農村を一体化して、区別せずに一律の社会保障などサービス制度を作ろうと試みている。

すでに全15村の内14の村については、4人家族で14400元の永続的な収入を得ることを目標に「天に依拠して飯を食う」と言われたこれまでの農民の運命的状態を根本から変えようとしている。

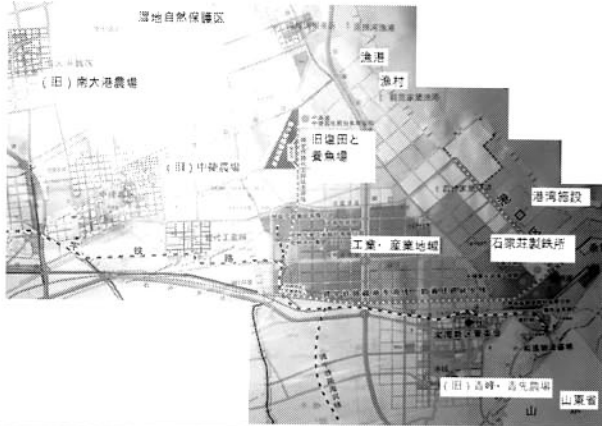
農業を産業化していく中で先頭に立つ（フロンティア）企業を育成しているが、今年、郷謡乳業は投資8000万元で改造を進め、一日の総生産能力も200トンに達した。また、対外的宣伝など積極的に市場開発をおこない、ブランドを作り、最終的には河北一の乳業ブランドの確立が目標で、一万頭の乳牛養殖基地建設を目標にしている。

ある養魚公司是2008年に供給量1000万元を突破し、供給は百万斤を超え、北京、天津、河北、遼寧、上海などに鮮魚を供給している。農業部は「全国水産業健康養殖模範場」とし、河北省工商局は「省級の著名な商標」と認定した。同時に農業部の「海洋漁業資源増殖放流基地プロジェクト」とされて、中央からの600万元の投資で海洋放流、観光などと一体になった華北一流の水産業養殖基地となった。さらに郷謡葡萄酒工場などの企業を農業のフロンティア企業として育てようとしている。栽培構造の適切な調整を進め、抵抗力のある綿の普及を図り、乾燥小雨の気候に合わせて、塩分を含むアルカリ性の痩せた土壤にあわせて、農業科学技術の優位を利用して小麦、綿花・大豆の優良種を提供することも仕事にしている。

以上Ⅱでは沿海地域の3つの代表的農場の事例を見てきた。国有農場であるからできることであるが大量の土地資源を経済建設と都市建設に提供し、地域産業の転換と発展を基礎から保障したのである。

中捷農場の将来の開発区の状況については下図の地図3を参照。北に南大港農場もみえる。

地図3 将来開発予想図（周辺地図含む）



### Ⅲ 内陸部の旧農場の改革と発展

#### Ⅲ-1 保定農場

保定農場は保定市東北の除水県にあり、農場は数カ所に分散し、各農場が伝統的農場の姿をまだ残している。農場は1958年に創建された。国道107号線と京広鉄道の両側に位置しており、交通の便はよい。土地面積は1万畝余り、可耕地は7千畝余り、総人口は1100人（在職離休幹部702人、在職399人で退職休幹部303人とこれらの割合は高い）。耕種農業を主とする農業企業となっている。改革開放後、農場の生産総額は1978年で432.5万元から2008年の1730万元に増加した。平均増長18%である。糧食生産の増加は4.5倍になった。一人あたり収入は800元から1万2000元に増加、15倍の増加である。改革開放の進展にともない、とりわけ中央の1号文献以来、各農業優遇政策実施によって、農民の積極性は向上した。土地請負を行い、多くの耕種農業大農家が生まれた。農業優遇政策の実施で農民職員に優遇を与え、現在では各畝あたり補助金110元を与えている。特に自らが作り上げた小麦良種繁殖基地を成立させて以来、収益は向上し、農場が毎年社会に提供する小麦粉種は400万斤以上で、この一項目だけで農場に60万元の増収をもたらした。こうして世間での好評と信用を得て、同時に全国十いくつかの科学研究所の後ろ盾となり、農場の小麦粉生産基地はすでに保北という名前で有名ブラ

ンドになっている。

農業を発展させるため、耕種農業を主とするモデルの農業企業は農業基礎建設を推進した。数年来省と市のプロジェクト資金と自ら蓄積した資金を利用して深井戸を55箇所掘り、変圧器低圧電線7万8千メートルを改造し、建て直したり新たに建てたりしたようである。糧食倉庫82部屋、干し場140000平方メートル、農場内道路1万メートル、累計投資額は270万元となり、農場の基礎設備を向上させた。他にも、2007年に400万元を投じて高い水準の公共住宅と事務所を総合したビルを建設した。事務の電脳化と自動化も実現し、全農場のハード面での向上が実現した。

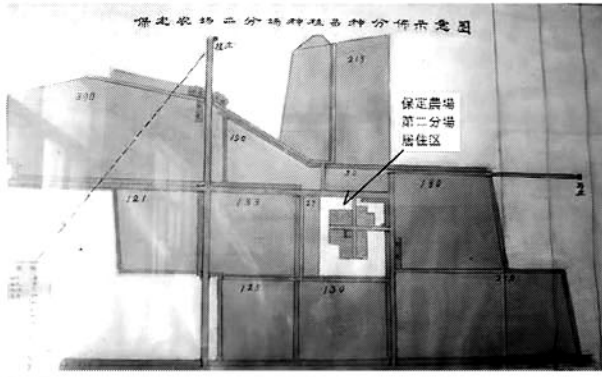
職員の収入も増加、余暇活動も文化活動も向上、新農村建設が今日に相応しいものとなり、これによって農場は10万元で2つの老人活動センターに投資、娯楽設備以外にも健康用品、文化用品設備を整えた。さらに農民の一部では自分の家を建て、家の広さは一人あたりで改革開放初期の4平米から20平米に増加した。2009年にも継続して新農村建設を進め、総場家属住宅ビル2棟を計画している。建設資金は職員から集めることも考えており、資金面でも豊かになった農場の職員に自分の住宅を建てることも奨励している。

農場は政府機関の機能も果たしており、周囲の農村とは隔絶した地位にあることは農場の建築物や周囲の風景からでも容易に理解できる。農場の所有していた工場や耕地は個人請負の経営形態をとっており、農場の職員間の富裕度にも差ができています。農場の農民は一般農民よりも耕地面積は広く、そのため資金的には恵まれていることが基礎にある。多くの農場の労働者職員は近くの町でもなんらかの商売を始めているし、農閑期にはとくに商売に従事できる時間もある。情報や組織も有利に働いている。

改革開放後30年経過した。この農場でも生活は変化し、養老院、病院など最低水準のものは保障され、小康状態に近づきつつある。家や車を購入することも普通のことになってきた。地図4に保定農場の第二分場を見る。



地図4 保定農場第二分場地図



出所：筆者撮影 2009年3月

下図の写真のような農場のシンボルでもある給水塔が農場にはある。建設当時は近代的なものである。1960年代から1970年代ころまで中国農村の一般家庭では水道は無く、水道があって給水施設を有する農場の住民はこうした恩恵に浴したのであった。周囲の農村よりは耕地面積も広く、生産設備の条件も良かったが、生活面でも優遇されていたのである。

写真 農場のシンボル 給水塔

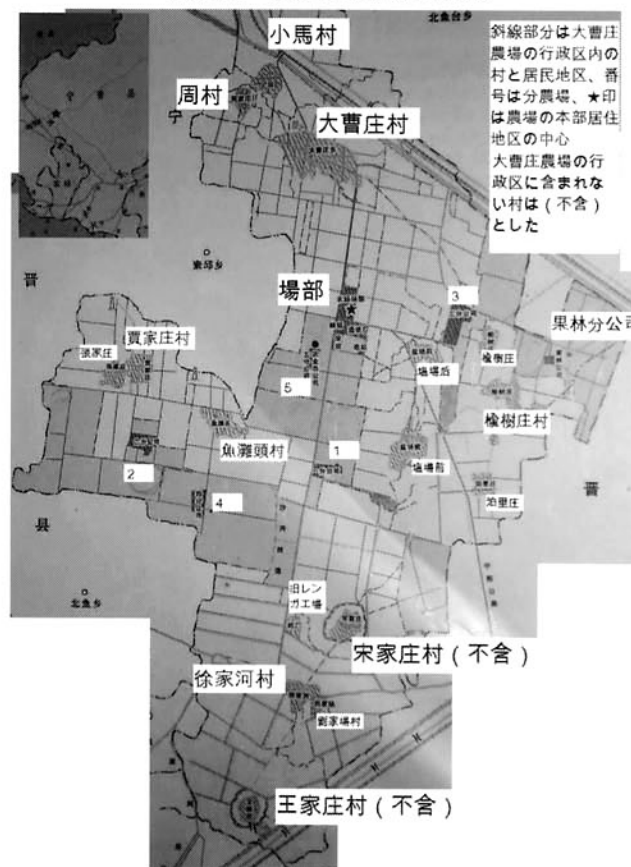


出所：筆者撮影 2009年3月

### Ⅲ-2 大曹庄農場

河北省農業庁農墾局には30個の農場があり、大曹庄農場は邢台市に属する中規模の農場である。改革後は名称が「邢台市大曹庄管理区」となる（前出

地図5 大曹庄農場の地図



(2つの郷と18農村含む地図)<sup>6</sup>

6 筆者の河北省大曹庄農場での聞き取りから（20070808聞き取り調査資料から）。

の農場一覧表参照)。この農場の場合も他の多くの中国の国有農場と同じく、行政組織と農場、企業と様々な面を持つように見え、職員や幹部も重複しているので複雑な説明が行われるが、結局、看板が何枚もあると理解すればわかりやすい。この農場の経営状況はかなり良いといえるであろう。国内総生産額では13162万元で全国第94位、3376万元の利潤額では第8位となる。農場職員労働者数は1986人で263位、病院が1、各村に医療所あるいは衛生院がある。高校1、中学3、小学校11がある。農場には第一分公司から第5公司まで、果林分公司までふくめると6つの大隊がある。農場は4千人の人口、ほかに大曹庄郷1万6千人（7村がある）、徐家河郷2万1千人（11村がある）。

地図5に見るようにやや複雑な行政区画になっている。一般農村と農場の分場の土地が入りくんでいることもあるが、保定農場と比べると飛び地はなく比較的集中しているので、すべての分農場や周囲の耕地や農村も一枚の地図上に描くことができる。

大曹庄農場の人口4000人のうち2800人が様々な産業や機関で働く。内訳は事業関係700人、企業2000人となっており、党機関・事業工作に750人が従事している。その内、党関係は196人（退職14人）で事業関係は554人（退職85人）である。企業単位は2026人であり、主に4つの企業で働く（離休13人、退職607人を含んでいる数）。農村の2つの委員会幹部は92人（党61人、村67人で両方にまたがる兼務は36人）。1997年以前は農場のもとに2つの郷、第一分場から第6分場まであり、他にも会社があったが、1999年から2001年に6つの分場は合併して3つになり、独立経営とした。2001年には農総会社が成立。

大曹庄農場の農業経営の改革についても少し書いておく。全国の改革と同じように個人の請負や生産責任制を導入する流れの中にあって1983年から1986年に4年間の家庭農場の制度を実施したが、経験が乏しくうまくいかなかった。1987年からもとへ戻し、統一管理を行い改革は後退した。しかし1997年から再び家庭農場を開始している。

会社組織は①農業総会社は1350人で在職は800人。②乳業発展センター45人、ここまでは国有単位である。③乳業公司287人「大曹庄三鹿乳業有限

公司」は2001年に石家庄三鹿乳業集団と河北泊乳業会社が共同出資してつくられた。ここから経理を農場に派遣しており、ほかの従業員は農場の人である。④電力供給公司35人、この後者の2つの会社は株式会社形態をとる。以上4つの会社は直属の企業である。これに加えて2郷、18村がある。農場属地主義の2003年の決定で、属地管理が開始されその地域行政組織に組み込まれたのである。ここに根本的に政治と企業の分離がなされたと言われる。

7月に邢台市大曹庄管理区が成立、11月6日に大曹庄管理区区委員会、管理委員会が成立した。こうして邢台市の21ある県市区のひとつの行政機関となった。

## 結び

河北の農場は急速な経済発展と開発の中で農場は産業化を急速に進め、農業から工業・サービス業への多角化の度合いを増し、地域経済の中にそれぞれの地域の発展において重要な地位をもって組み込まれていく現状を沿海地域と内陸の農場調査の事例で見てきた。農場は属地主義の政策によって、一般の行政組織を組み入れ、開発の進んだ沿海地域では管理区などに編成されていくが中国農村のなかでは優位な地位を保ち続けている。農場は国有地として経営している農耕地や自然の荒地も含む広大な占有地をもっている。かつては顧みられなかった荒地でさえも市場経済が発展する今日では独占的な価値が高まっている。とくに工業基地建設のために提供される国有地はまとまった広い区画で、農場の土地は大規模な開発を計画的に行うには便利であろう。

農場はその特別な役割、すなわち戦後の退役軍人らの就業場所の確保、荒地の開墾、食料や原料の供給基地、社会主義の優位性の宣伝といった役割をすでに終えているが、現在の市場経済の発展の中で、農場が再編成されて管理区などの形成において中国経済発展の先頭に立っている。河北省のいくつかの農場の事例でこうした結論へ導くにはなお慎重な検討を要する。農場が消滅するにせよ、一般の行政組織に溶け込むにせよ、また農業企業に転換していくにせよ、その変化の過程を実地に調査することは中国経済発展のこれまで注意されなかった側面に迫ることとなる。

---

先に発表した拙論で、中国国有農場に重要な地位が今後も与えられるのは国境地域に広がる大規模農場地域であり、辺境地域の開発や軍の後方支援、少数民族対策といった独特の意義を指摘したが、本稿では中国内陸部の農場、そして特に経済開発の進む沿海地域の農場に独特の発展の型、再編成の現状を確認した。